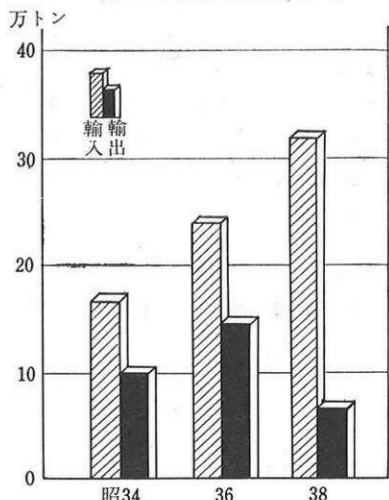




図1 輸出入貨物の輸送量



(資料) 日本国港務統計年報

県経済の発展をはか
るためには、農林漁業
の近代化はもとより都
市工業化の促進が必
要であるが、特に工業
化は、今後の経済発展
に主導的な役割を果た
す部門である。
このため、わが国経
済が都市工業化によ
って大きく発展してい
るなかで、県として

主要施策の方向

1 将来の見通し

県経済の拡大発展にともない、地域間
産業間における物資、人の流動は必然的
に増大するが、特に臨海部については、
八代、長洲荒尾、水俣などの工業開発が
大きな役割を果たすことになり、工業生
産に見合う原材料、製品あるいは工業開
連の貨物量は急速に増加し、その輸送の
ため、港湾への依存は強くなる。また、
国の経済の発展とともに、国内先進地域
との接触が一層密接になり、あるいは開
放経済の発展により、国外との貿易が活
発化してくるので、海運による貨物量
は、飛躍的に増大することが予想され
る。

2 基本方針

は、まず交通通信施設の先行的な整備に
よって、国内各地との接触条件を広域化、
スピード化、大量化する必要がある。

ところで、県経済発展の主導的な役割
を果たす工業開発においては、八代、長
洲荒尾、水俣など港湾を中心とする臨海
工業地帯の開発が極めて大きな比重を占
め、港湾の整備、埋立工場用地の造成
が、工業開発の大きな極め手となって
くる。したがって、工業生産に見合う製
品、原材料、工業関連貨物の港湾輸送あ
るいは必要工場用地の確保について、隘
路を生じないよう長期的視野にわたって計
画的、重点的に港湾の先行的な整備拡充
を行なうとともに、臨海埋立工場用地の
確保をはかる。さらに、一般港湾、特に
離島港湾については、自然条件からくる
地域の交通条件や産業の実情に即応し
て、適正規模の港湾を整備し、地域産業
の発展を助長する。

港湾の整備

1 産業基盤として

不知火海、有明海沿岸地域は、県経済
の主導的地位を占めているが、今後にお
いても新産業都市の建設あるいは農業の
近代化などによって、その役割はますます
大きくなっていくことが予想される。
すなわち、工業開発を主軸とする北部の
荒尾・長洲、南部の八代、水俣および管
理中枢都市、観光を目ざす熊本地区など
の開発拠点があるが、これらの地区の開
発をすすめるに当って、その基盤となる
港湾の整備が必要である。

したがって、これらの拠点の開発規模
と性格に応じ、港湾の整備を重点的に
推進することとし、八代港については、
工業港として最大一萬五、〇〇〇重量ト
ン船舶の利用可能な港湾施設の整備をは
かる。水俣、長洲、荒尾港については、
地区の開発に応じて工業原材料、製品な
どを輸送するのに必要な水深10.5m(水
俣)、14.5m(長洲、荒尾、四六年以
降10.5m)岸壁および所要の港湾施設
の整備をはかる。三角港については、貿
易、観光港として整備をはかるほか、熊
本地区を背後地とする工業関連港とし
て、あらたに水深10.5m岸壁および所
要の港湾施設の整備をはかる。

2 離島港湾の整備

離島天草における交通は、島外への交

通はもちろん島内交通においても一部船
舶によるなど船舶交通への依存度は高
く、港湾の占める比重は大きい。しか
し、天草島の地理的特性から、各地域に
それぞれ数多くの港湾が配置され、これ
を拠点的に整備することが困難な状態に
ある。したがって、地域の産業、地理的条
件などを考慮のうえ、地域の性格に応
じた適正規模の港湾を、離島振興計画に
基づいて整備するものとする。

なお、天草島における果樹産業の大幅
な発展と観光開発の進展は、島外との交
流を極めて広範囲にし、かつ活発にする
ことが予想され、さらに現在建設中の天
草架橋が完成すれば、三角―本渡―牛
深―鹿児島長島を結ぶルートの観光客
や貨物の流動が必然的に増大するので、
これらの輸送を円滑にするため、フェリ
ー施設や港湾施設の整備を促進する。

臨海工業用地

の造成

工業開発の目標を達成するためには、
新規企業の大規模な導入が必要であり、工
業計画計画においても、八代臨海工業地
帯、有明臨海工業地帯の造成整備を推進
することとしており、工業生産規模の長
期的見通しに適合した臨海工業用地を、
港湾の整備との関連においてできるだけ
先行的に効率的に達成するものとする。

(26頁へつづく)